

平成24年度総務委員会活動経過報告

1. 会議等の開催状況

第1回総務委員会 平成24年9月13日（木）東京大学総合図書館
その他、メールによる審議

2. 活動内容

(1) 海外派遣事業の平成25年以降の実施について

海外派遣事業の今後の継続について検討し、平成24年度をもって田嶋財団からの助成が終了するが事業としての意義は高いことから、本予算及び協会記念基金からの支出によって今後も現状と同規模の事業を継続すること、ならびに田嶋財団からの助成がない場合には本予算と基金の支出比率をおおむね2:1程度とすることを秋季理事会に提案することとなった。

(2) ICOLC 会議への職員派遣について

平成14年度から本協会の事業として行ってきた ICOLC への派遣事業の見直しについて検討し、JANUL コンソーシアムが JUSTICE に統合されたことから、本協会の事業として ICOLC 会議へ派遣するのではなく、国公立大学図書館協力委員会の派遣事業 (JUSTICE が受託) に委ねること、ただし、国立大学職員が JUSTICE による派遣メンバーに選ばれなかった場合には、本協会が参加費用を負担し、国立大学職員を JUSTICE を通じて ICOLC 会議に参加させることを秋季理事会に提案することとなった。

(3) 監事の選出について

現行の「監事の選出について(申し合わせ)」を継続することを総務委員会として確認した。

(4) 平成26年以降の総会日程について

木曜日午後に総会、金曜日午前にはマネジメントセミナーという現行の日程で問題がないか検討し、平成26年度総会は現行の日程で行うこととなった。マネジメントセミナーのあり方については、総会ワークショップ、シンポジウム等も含めて、理事会等で意見交換を続けることとなった

(5) 協会の組織、機関、会則等の見直しについて

会則、了解事項、申し合わせ等の不整合については、協会の運営に深刻な影響をにわかに与える内容のものでないことから、会則そのものを改正せず、「申し合わせ」の制定・改正で対処する案を秋季理事会に提示し、意見を求めることとなった。

(6) 60周年記念資料について

次回の第60回総会にあたり、第50回総会にて作成した50年史資料集に続く補遺版の作成について、協会事務局で検討することとなった。

(7) 平成25年度国立大学図書館協会賞について

国立大学図書館協会賞に3件の応募があり、総務委員会設置要項3(2)に基づいて協会賞専門委員会を設置し、協会賞専門委員会要項第4条による同専門委員会の委員長として九州大学の益森事務部長を指名した。

3. 委員構成

委員長：	古田元夫	東京大学附属図書館長
委員：	井上修	東北大学附属図書館事務部長
	中山伸一	筑波大学附属図書館長
	田中成直	東京大学附属図書館事務部長
	栃谷泰文	京都大学附属図書館事務部長
	酒井清彦	山口大学情報環境部長
	川本芳昭	九州大学附属図書館長
	益森治巳	九州大学附属図書館事務部長
	岩本俊孝	宮崎大学附属図書館長
事務局：	高橋努	東京大学附属図書館総務課長
	村上晋司	東京大学附属図書館企画渉外係長